

令和 2 年度の保育園行事の見通しについて

保護者の皆様には日頃より保育園運営にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。このたび、新型コロナウイルスの感染急拡大に伴い、日本政府は 4 月 8 日(水)に 7 つの都府県に「緊急事態宣言発令」に踏み切りました。この発令により、大阪府や兵庫県では保育園の休園には現在のところ至ってはいませんが、いち早く東京都では渋谷区が「臨時休園、特別保育」対応を決めました。また千代田区においては「原則休園」を決めました。そして、現在、お隣の愛知県が政府に対して発令要請をしています。この要請を政府が認定すれば、愛知県内の保育園にも何かしらの動きがあるだろうと思います。そんな中、世界の動向から比較してみると日本はよく持ちこたえている方だと感じます。中でも鈴鹿市は先般の陸上競技講習会での感染者発生については感染拡大を最小限に留めたかなと安堵しています。

現在、私たちの住んでいる地域は何とか持ちこたえている状況ではありますが、いつまでも「対岸の火事」という状況ではいられないだろうと思います。日本政府は都市封鎖(ロックダウン)は必要ないという見解ですが、それで「80%の接触減」というのは少し難しいのではないかと感じます。法的な強制力はないにしても、都市封鎖はした方が良いと思いますし、重要なのは社会的隔離をいかに効果的に行い、尚且つ、経済の停滞を避けるか、だと思えます。その為には事業所が休業や業務縮小を選択できるよう、政府には補償対象を万全にして、決断の後押しして欲しいと願います。そして一日も早く新型コロナウイルス感染拡大が収束し、皆に日常が戻ってくることを祈ります。

以上、今、感じていることを示させて頂きましたが、そのうえで、令和 2 年度の保育園行事の見通しについてです。現在、新型コロナウイルス感染者の低年齢化が見られ始めており、中国武漢市でも乳幼児の感染が相当数あったとのレポートもあるようです。クラスターが発生しやすい保育園という環境の中では、やはり保護者の不安も大きいかと思います。そのような中、令和 2 年度の保育園行事については、感染拡大の状況、行政の動き、近隣の福祉施設等の動向など様々な角度から、延期・中止を含む開催の可否等の判断をしていく必要があると思います。日々刻々と状況が変化していく中での判断になりますが、保育園としましては、保護者の皆様の勤務の都合、保育園の準備の都合、その両方を考慮すると、「開催予定日の 1 ヶ月前」が判断の目安になるかと思えます。

ながさわ保育園では 6 月 6 日(土)に運動会を予定しています。この行事に関しては、現時点での状況、政府からの様々な自粛要請が続いているにも関わらず、感染者数は拡大する一方である中、6 月に状況が好転している可能性は極めて低いだろうというのが、悲観的ではありますが、正直な感想です。そのうえでの判断にはなりますが、今年度の運動会については「ひとまず時期未定の延期」という判断をさせて頂こうと思います。今後もめまぐるしく状況が変化し、保育園としましても、急な変更、延期、中止といった決断を行わなければならないことがあると思います。保護者の方々におかれましては心配や不安に思われることもあるかと思いますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

令和 2 年 4 月 10 日(金)

ながさわ保育園

園長 中瀬弦偉